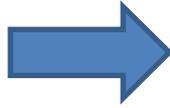


◆具体的な対策（案）

ニーズ・課題

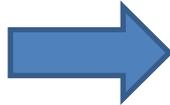
- ・勤務形態の変化や就労希望等により、幼稚園での一時預かりを希望している家庭が多い。
- ・核家族化等に伴い、緊急時や仕事の都合等で一時的に預ってもらえる施設等を確保することが難しい家庭の増加。



- ・幼稚園の一時預かり事業を年間通じた事業に拡大

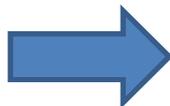
- ・一時預りなど保育に関する相談・調整できる保育コーディネーターの設置（継続）による相談対応の充実

- ・少子化や就労意識の変化等に伴い、幼稚園の入園数が年々減少傾向。
- ・今後さらに定員の 1/2 以下に減少する見込。



- ・幼稚園の定員の削減

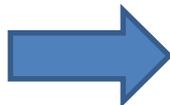
- ・待機児童が発生している。
- ・保育所に子どもを預けて働きたいが、保育所に入れず、幼稚園を選択されている家庭がある。
- ・保育所の入所希望は今後も横ばいで推移する見込。



- ・保育所の受入枠の一時的な拡大

- ・もしくは園児数の今後の動静を踏まえた保育所の定員の拡大

- ・女性の結婚・出産期の就業率は低下するが、1年後の就業希望は高くなっている。
- ・就労状況が変化しても継続して利用できる教育・保育環境に対するニーズが高い。
- ・地域における子育て支援の充実



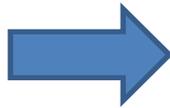
- ・民間保育所による認定こども園化検討の支援

- ・民間保育所の安定的な運営を前提として、公立幼稚園の認定こども園への計画的な移行

ニーズ・課題

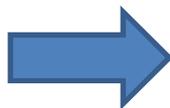
具体的な対策

- ・保育士の採用が困難と感じている施設が多い。
- ・臨時の保育士確保が困難である。



- ・保育士の就労を希望される人材登録制度の創設
- ・町広報誌やホームページなど募集案内の強化

- ・質の高い教育・保育の提供



- ・保育士、教諭の研修会の充実
- ・保育所、幼稚園、小学校や関係団体との連携強化

